

1 医療の質の向上

■ 高度専門医療等にかかる診療機能の充実

【急性期・総合医療センター】

- ・救命救急医療の充実
 - * 365 日 24 時間体制で小児二次救急患者を受け入れる小児医療センターの開設(5 月)
 - * 三次救急新入院患者数 1,318[1,309]人 うち SCU264[270]人、CCU261[274]人
- ・地域がん診療連携拠点病院としての取組
 - * がん相談支援センターの相談件数 926[227]人、外来化学療法の実施件数 13.3 件/日

【呼吸器・アレルギー医療センター】

- ・肺がん等の総合的診断・治療の実施
 - * 禁煙外来の受診患者数 88[50]件、蛍光気管支鏡の検査件数 85[22]件
- ・長期慢性化したアレルギー疾患に対する専門的診療の実施
 - * アトピー性皮膚炎患者等に対する心身医学療法実施患者数(入院)9[27]人、(外来)138[139]人

【精神医療センター】

- ・建替による再編整備の推進
 - * PFI法の手続に基づく実施方針の公表(8 月)、業務要求水準書案の公表(11 月)、入札公告(2 月)
- ・自閉症専門外来の充実(確定診断対応医師の体制強化)
 - * 確定診断待機患者数(4 月 838 人→1 月 646 人)

【成人病センター】

- ・難治性がん患者の治療等
 - * 手術 685[641]件、放射線治療 22,770[22,796]件、
外来化学療法 52.7[51.6]件/日
- ・都道府県がん診療連携拠点病院としての取組
 - * 肺、胃、大腸、乳、前立腺がんの地域連携パス作成に向けた検討

【母子保健総合医療センター】

- ・国立病院機構大阪南医療Cとの連携等による手術の推進 * 手術 3,092[3,001]件、うち連携分 24[46]件
- ・周産期緊急医療の充実(OGCS、NMCSの基幹病院としての取組)
 - * 産科母体緊急搬送コーディネート 197[258]件、母体緊急搬送受入 119[78]件、
新生児緊急搬送 235[223]件

■ 病院機能の向上

- ・病院機能評価の受審 : 母子C(12 月)及び急性期C(1 月)が(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価(Ver.5)を受審
- ・診療内容の標準化 : クリニカルパス適用率 急性期C83.9[76.2]%, 呼吸器C26.7[26.9]%,
成人病C50.9[53.6]%, 母子C47.8[38.2]%

■ 安全、安心な医療

- <成人病C> 一部特殊なレジメン(抗がん剤投与計画)を除き、入院、外来ともほぼ 100%薬剤師によるミキシングを実施
- <母子C> 病院感染防止のため母性棟内患者トイレの便器交換や、家族控室のトイレとシャワー室への緊急ブザー設置

2 患者サービスの向上

■ 患者満足度の向上

- ・他病院とのベンチマーク等を考慮した患者満足度調査の実施

■ 待ち時間の改善、アメニティの向上

- <呼吸器C> 待ち時間に利用できる、インターネット、図書等を備えた医療情報コーナーの開設(7 月)
- <急性期C> コンビニエンスストアの開店(8 月)、ATMの年中無休・24 時間化(9 月)、
コーヒーショップの開店(12 月)

※数値実績は 4~1 月、[]内は前年同期

3 地域との連携・貢献

■ 地域医療機関との連携

・紹介率と逆紹介率

<紹介率> 急性期C70.0[59.3]%,呼吸器C53.1[54.9]%,精神C29.3[30.8]%,
成人病C88.6[84.5]%,母子C83.5[84.5]

<逆紹介率> 急性期C52.7[40.3]%,呼吸器C40.9[38.7]%,精神C23.1[24.1]%,
成人病C118.8[94.8]%,母子C15.3[15.0]%

■ 患者ケアの充実

<精神C> 在宅医療室の体制強化(非常勤2名増)等による訪問看護の拡充
*実施件数 3,394[3,234]件

<母子C> 在宅酸素の取扱いに関する勉強会開催など在宅医療支援室の取組充実

■ 地域の医療水準向上

<急性期C> 地域の病院、診療所などを後方支援する地域医療支援病院の認定取得(11月)

<成人病C> 「放射線治療研究会」加盟病院の連携による高度医療機器の活用
*前立腺がんに対するIMRT受入患者数 27人

4 地域との連携・貢献

■ 医師等の確保

<精神C> 協力型臨床研修病院として、新たに国立病院機構大阪医療センターから研修生の受入れ
*延受入数 34人

<成人病C> 臨床研修受入協力病院の追加や大阪大学臨床研修プログラムへの参加等
*レジデント前年同期比 2名増

■ 教育研修の充実

<精神C> 最新の医療水準に対応するための精神科救急、児童思春期等4研究プロジェクトの発足

<成人病C> 看護基礎技術のeラーニング(パソコンソフトを使用した教育研修)の開始
*閲覧できるコンテンツ 30種類(1月末)

■ 人材の活用、体制の弾力化 ※数値実績は4~1月、[]内は前年同期

<急性期C> 府立の病院間でローテートする研修プログラムによる小児科レジデントの派遣
(1名、急性期C→呼吸器C)

<成人病C> 診療体制の充実強化のため、「消化器内科」を「消化管内科」及び「肝・胆・膵内科」の
2科に再編(10月)

・19年度に締結した大阪府立大学との協定に基づく看護師の実習受入れ
*5病院と府立大学の合同就説明会の実施(6月)

5 業務運営の改善

■ 効率的・効果的な業務運営

・業務のアウトソーシング等の順次推進

・事務プロパー職員の採用(5名)、診療報酬等の専門研修の実施(20.12~21.3)

・危機管理の徹底と緊急時に即応するための危機管理基本指針の整備(4月)、
コンプライアンス研修の実施(12月)

■ 収入確保の取組

・高度専門医療の提供等による診療単価の向上

・各病院での診療報酬請求精度調査と、経営会議や各病院での報告会の開催(12月~3月)

・滞納未収金に対する弁護士催告や債権回収会社への委託などの手法を用いた未収金回収の推進

■ 経費節減の取組

・カテーテル等高額医療材料や消耗医療材料など同種同効品の集約化推進による材料費の削減

・CM(コンストラクションマネジメント)会社による改修の拡充

※数値実績は4~1月、[]内は前年同期